

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 日本厚生学園 ひ〜ず		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができている。	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳で毎日子どもの様子を伝えている。 バスを降りるときに、今日の様子を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なアセスメントツールについて調べて、必要であれば取り入れていく。
2	職員の質の向上を目指している。	<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加した職員が、その内容を他の職員に伝えている。 強度行動障害支援者養成研修を受講している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間での研修は継続しつつ、今後は外部の研修の機会を増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の放課後等デイサービス事業所との交流や活動する機会が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流交歓大会、こどもまんなか冬まつりなど、他の放課後等デイサービス事業所と活動する機会は設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の放課後等デイサービス事業所と交流する機会を増やすことを検討する。 利用日ではない日の交流もあったため、利用日に交流する機会を設けることを検討する。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けて、家族への支援をする機会が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 主に中高生を対象としている事業所であり、学校での活動が主体となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の活動は現在ありませんが、保護者の方が交流できる催しを、今後、開催していきたい。
3			